

「日経三国志」テレビCM、ACC賞フィルム部門でブロンズ賞を受賞

日本経済新聞社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田直敏）の横山光輝氏原作の漫画「三国志」と連携した広告「日経三国志」のテレビCMが、2017年ACC TOKYO CREATIVITY AWARDSのフィルム部門 A カテゴリー（テレビCM部門）でブロンズ賞を受賞しました（※画像は受賞作品の1シーン）。

応募本数 1139 本の中からブロンズ賞に選出されました。受賞したのは「就活篇」「営業篇」「同期の誓い篇」「馬超もびっくり篇」「ダイバーシティ篇」の一連の作品です。このほか、マーケティング・エフェクティブネス部門、フィルム部門B カテゴリー（web 動画部門）でもファイナリストに選ばれました。

「日経三国志」は、横山氏の三国志作品の人物約 50 人が登場、数々の名場面にビジネスや就活などのシーンを重ねて「知は、力なり。」とのメッセージを伝えています。日経電子版の「すべてのビジネスパーソンに質の高い情報を提供したい」との思いを、諸葛亮孔明ら英雄たちが「知」の限りを尽くして競い合う姿に重ね合わせています。出演声優は孔明役の池田秀一さん、劉備役の増岡弘さん、関羽役の小林清志さんら豪華な布陣で、テレビCM、Web、交通広告それぞれで三国志キャラクターの個性を生かしたクリエイティブを展開。「日経電子版」及び「日経三国志」に注目が集まりました。



「同期の誓い篇」



「馬超もびっくり篇」



「パーリーピーポー篇」

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」の登録会員数（有料会員と無料会員の総数）は360万人を超え、有料会員は約54万人です。2015年に英フィナンシャル・タイムズがグループに加わり、世界最先端のデジタル・テクノロジーを自ら開発し、駆使する「グローバル・テクノロジー・メディア」企業を目指しています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)